作業工程計画書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 作業工程 | ポイント（留意事項等） | 参考資料（写真、図面等） | |
| 準備 | | 作業場所の確認・整理  使用機器の確認  使用材料の確認 |  |
| １．回路設計  ２．回路製作  ３．動作確認 |  |  | |

作業工程計画書（模範解答）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 作業工程 | ポイント（留意事項等） | 参考資料（写真、図面等） | |
| 準備 | | 作業場所の確認・整理  使用機器の確認  使用材料の確認 |  |
| １．回路設計  ２．回路製作  ３．動作確認 | ・JK-FFの真理値表の作成  負論理入力になっている部分に注意する  ・同期式１０進カウンタの状態遷移表の作成  真理値表をもとにして記入する。Don’t　Careの場合には”d”または“ｘ”を記入する  ・カルノー図の作成  論理式を簡略化できるようまとめる  ・回路図作成  同期式カウンタのためCLK信号の配線に注意する。  ・CLK入力する信号は、チャタリング防止のためRS-FF回路で構成する。  ・カウンタ回路としてJK-FFを用いること。  ・各ICには、パスコンを取り付けるようにする。  ・配線は、識別しやすい色を使用する。  ・LED出力回路は、トランジスタを用いること。  ・同期式１０進カウンタとして必ず動作すること。  ・セット/リセット動作すること |  | |